



# 謝 謝!

## 島田市とシンガポールの交流



6月16日～30日に、シンガポール代表卓球女子チームの第1回目オリンピック事前合宿が市内で行われ、市民との交流を深めました。

☎文化資源活用課  
36・7214

市は、東京五輪開催決定直後から、シンガポール代表卓球チームの合宿誘致を進めてきました。同チームは、リオ五輪卓球団体戦で日本代表とメダルを争った強豪。昨年6月に、事前キャンプに関する覚書を締結し、今回が初めての合宿となりました。

キャンプに訪れたのは、選手とスタッフの合計17人。選手たちは、ローズアリーナで練習するだけでなく、小・中学生、高校生への技術指導なども行いました。ユ・モンユ選手は「世界レベルの練習環境を用意してもらったので、しっかり練習して結果を残したい。島田のおもてなしも大変温かく、うれしく思う」と感謝の言葉を述べました。

また川根中学校を訪問し、一緒に給食を食べたり、卓球を披露したりして交流。生徒たちは、勉強してきた英語が通じると、うれしそうな表情を浮かべていました。

シンガポールマラソンとしまだ大井川マラソンが、姉妹レース協定を締結しました。

☎しまだ大井川マラソン実行委員会事務局(観光課内)  
36・7163



シンガポールマラソン運営会社のベラード氏と染谷市長

アジア最大級のマラソン大会といわれる「シンガポールマラソン」と「しまだ大井川マラソンinリバティ」が、7月12日にシンガポール国内で姉妹レース協定を締結しました。

卓球チームのオリンピック事前合宿での交流をきっかけに、マラソンの提携が実現。協定書には▽マラソン大会成績優秀者の相互派遣▽両大会のPRやオリジナルツアアの企画▽参加者の誘致などが盛り込まれました。締結式で、染谷市長は「まずは選手の相互派遣などを通じて、市民レベルの交流を図りたい。しまだ大井川マラソンにも、海外から参加してもらえよう、積極的にPRしていきたい」とあいさつしました。



①川根中での歓迎会  
②小・中学生、高校生との交流試合  
③レストランで流しそうめんにはしゃぎ  
④川根中の生徒と給食を試食  
⑤ユ・モンユ選手にサインをもらう生徒